

OTAKI VOICE

01. What is OTAKI VOICE?
02. 中村代表に聞きました①（動物保護活動）
03. 中村代表に聞きました②（経済同友会）
04. Wellbeing セミナー
05. オモテナシを探る

Vol.1

趣味は
クン活、
特技は
爆速食い！

PICK UP! MY FAMILY

小滝橋動物病院 本院 矢ヶ崎 望

とろみちゃん

クン活に夢中で電信柱にぶつかったり、階段を踏み外したり…そんな姿は愛嬌たっぷり！！

What is OTAKI VOICE

タイトルの由来

皆さん、沢山のアイデア発案にご協力いただきありがとうございました！市ヶ谷院が提案してくれた「vet's voice」をベースに、小滝橋の社内報であることが明確に伝わるタイトルにするという意見も反映し、最終的に決定しました。



コンセプトは「お互いを知る」

小滝橋動物病院は皆さんのおかげで順調に成長し、社員数が100名を越えるまでになりました。嬉しい反面、社員同士の交流が難しくなるという課題も出てきました。

そこで、関係の希薄化や職場環境の悪化を防ぎたいという思いから、新たに社内報を立ち上げることに決めました。そのコンセプトはズバリ「お互いを知る」です。

分院や役職を超えて理解を深め、思いやりを持ってより楽しく働ける環境を目指します。そのために、さまざまな人々の立場や価値観、また取り決めの背景について発信していきます！

社内報メンバー しょうかい

何事も楽しく
のんびり生きる！！

好きなものは、
ダイビングの後に
海辺で飲むビール



食べることと
ビーグルが大好き



グルメ・マンガ・
旅行・断捨離が好き



The Interview

中村代表に聞きました

その 1 動物保護活動について

ご協力ありがとうございました

募金額

おきにゃあわん募金箱

48,606 円

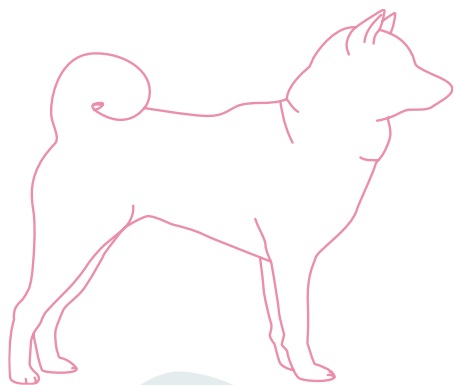
ワン's募金箱

70,794 円

01

動物保護活動に寄付しようと思ったきっかけは？

沖縄に行ったとき、野良犬・野良猫がまだまだ当たり前で、自然環境に影響を与えているって聞いてショックを受けたんです。沖縄の自然を守りながら、犬猫を助ける活動に貢献したい！そんな気持ちできっかけです。



02

なぜこの2つの団体を選んだのですか？

さまざまな保護団体が存在しますが、正直言って透明性については不安がありました。でも、信頼できる人から紹介を受けたので安心できました。それに、アニドネっていう認定団体に選ばれていたり、前沖縄県獣医師会会長が顧問をしていることも知って、信頼できると感じました。活動報告もちゃんと公開されていて、すごく活発に動いているのが伝わってきました。

03

どんな支援を考えていますか？

単に寄付するだけじゃなくて、もっと長期的で持続的な支援をしたいと思っています。具体的には、沖縄に自社の研修施設を作って、避妊去勢手術や治療を行える場所を提供したいと考えています。また、東京都内で里親を見つけるための仕組みも整備したいと思っています。施設を作るだけでなく、保護団体としっかり連携して、保護活動を安定して継続できる体制を整えるつもりです。

04

研修施設を作る目的は？

ワン'sの年間医療費が約700万円に達していることを知り、その負担を少しでも軽減できればと思いました。施設を作ることで、治療や避妊去勢手術の数が増え、若手の獣医師たちにとっても経験を積む良い場になると考えています。これは、沖縄の動物たちにとっても、私たちにとっても良い結果を生むWin-Winの関係になると思います。

05

今回の寄付は、まだ始まりということですね。

そうです！今回の寄付は、この活動の始まりにすぎません。これから取り組みを広げて、人・動物・自然が共に暮らせる社会の構築に貢献できればと考えています。スタッフの皆さんも、引き続きご協力よろしくをお願いします！



The Interview

中村代表に聞きました

その 2 経済同友会への加入について

01

経済同友会に入ろうと思ったきっかけは？

日本に「動物と暮らす文化」を根付かせたいという想いが以前からあります。そのためには、ただ動物を増やすだけでなく、法改正や生活インフラの整備など、社会全体の仕組みを変える必要があると考えています。この実現のために大事だと考えているのは次の2つです。

- ①ペット業界の規模を拡大すること
 - ②業界外の企業から協力や理解を得ること
- 要するに、業界内外で仲間を増やし、発信力や推進力を強化したいと思っているからです。

04

2024年11月に無事に加入されたと聞きました！加入後はどんな活動を？

経済同友会には委員会活動があり、その中で「地域共創の委員会」に入りました。将来的に地方にも高度医療を展開したいので、地方貢献をテーマにしている委員会が良いと思いました。

本当は「ウェルビーイング」や「自然」に関連する委員会があれば入りたかったのですが、そういうテーマの委員会がなく驚きました。



02

なぜ経済同友会を選んだのですか？

実は、当初は経団連に入りたいと思っていましたが、実際に目の当たりにすると政治色が強い印象を受けました。派閥や既存意見が固まっている雰囲気もあり、「ここで自分がやりたいことできるのかな？」と疑問に感じました。

そんな時に経済同友会を紹介されました。正直、その時は名前も知らなくて（笑）。ただ、調べてみると創業者や大企業役員など、さまざまな方が所属し、活発に活動している団体でした。ここなら自分のやりたいことを実現できるかも…と思い、加入を目指しました。

経済同友会に加入しました！



03

加入にあたって、大変だったことは？

審査が厳しかったです。「売上10億円以上」「業界内での地位」など、さまざまな条件があり、審査全体で4~5か月ほどかかりました。

特に大変だったのは推薦人探しです。2~300人のリストから2人に推薦をお願いしなければならないのですが、当時知り合いがゼロでした（笑）。まず1人紹介してもらい、事業内容をプレゼンし、その方から次の人を紹介してもらい…と少しずつ繋がりを作っていきました。

推薦をもらうには事業内容だけでなく、自分自身を知ってもらうことも大事で、想像以上に時間と労力がかかりました。推薦人探しだけで2か月もかかり、「もう無理かも」と思うこともありましたが（笑）。

05

最後に、今後の目標を教えてください！

まだまだ課題は多いですが、今回の経済同友会への加入は大きな一歩だと思っています。今後も、皆さんから見ると突拍子もない話を進めるかもしれませんが、「動物と暮らす文化」を目指す過程だと理解していただけると嬉しいです。

Wellbeing セミナー



Well-beingセミナーが開催されました

セミナーにご参加された皆様、またその間に病院業務を支えてくださった方々、お疲れ様でした。このセミナーは全3回で構成されており、「Well-beingの基本知識」と「実践的な活用法」を学びながら、「今後のWell-beingな小滝橋」について考える内容でした。その一部を皆さんにご紹介します。

DAY 1 Well-beingの基礎知識

Well-Beingについて、皆さんはどの程度知っていますか？私自身は、漠然と「意識高い系の幸せ」という印象を持っていました。

また、「成功すれば幸せになれる」といったイメージもありますが、実は「幸福度の高い人は、創造性や生産性、売上が上がりやすく、成功しやすい」という逆の因果関係があるようです。

Happinessではなく、Well-beingを向上させることは、周囲の仲間や家族、友人を大切に、有意義で没頭できる仕事を持つことだと思います。

そのような幸福度の高いメンバーが多くいる会社は生産性が向上し、成長し、社員はさらに恵まれた環境を享受する…こんな好循環が生まれると素晴らしいですね！

Happiness = 瞬間的な幸せ

- お金をたくさん得ること
- ほしいものを手に入れること
- 地位や名誉を得ること
- お酒や好きな食べ物を我慢せずに食べる



物質的に豊かになっても、人間は良いことにはすぐ慣れてしまうようにできていて、その喜びは長続きしません。

Well-being = 持続可能な広義の幸せ

PERMA

- ポジティブ感情：Positive emotions
- 没頭した状態：Engagement
- 他者につながる：Relationship
- 有意義な人生：Meaningful
- 達成：Accomplishment

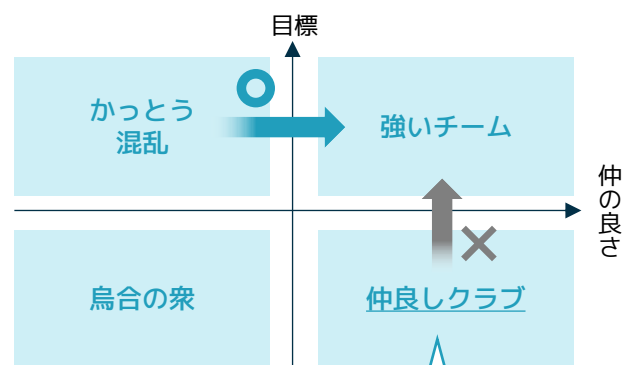


DAY 2 Well-beingとチームづくり

「集団」と「チーム」の違いは…なんだと思いますか？チームとは、共通の目標に向かって互いに貢献し合う集団のことを指します。

みなさんのチームはどのような集団でしょうか？右下の「仲良しクラブ」は一見魅力的ですが、実際には上の「強いチーム」になるのは難しいと言われています。

「仲良しクラブ」は仲の良さを守るあまり、新しい挑戦ができず、現状を維持し続ける傾向があります。調和を重んじるあまり改革が進まないのは、まさにThe 日本 という感じですね。



一見良さそうに見えて、実際は不安定。仲の良さを崩さないために、新たな挑戦や深い話し合いができない。

このような状況避けるためには、まずは「共通の目標を設定し」、その後に「関係性を深める」という順序でチームビルディングを進めることが重要だと言われています。

チームが形成されると、主体的に行動できる仕組みや、加速的に進む仕組みを整えることで持続的に成長するチームができるそうです…！

皆さんのチームの目標は何ですか？ぜひ1つ設定してみてください(^^)

DAY 3

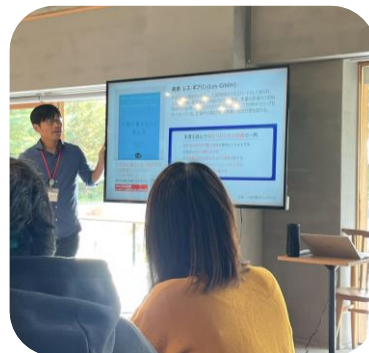
"オタキの未来"にむけて

「自分を知る、相手を知る」というセッションを経た後、オタキの現状について様々な視点や言葉で考え、どういう未来を作っていきたいか多くの意見を出し合いました。

"オタキの未来"にむけて出た意見

- **事業**：動物の医療やケアもできる、老人ホームを経営したらどうか
- **教育**：個々のペースに合わせたり、思いやりを持った教育が必要では？
- **長期雇用**：3-4年で他に行くという選択もあるが、長期で働くことで、どういう成長を与えられるか明確にすべきでは？
- **文化**：どんな状態で転院してきても受け入れる「あきらめない」文化がある。受診日に診断治療する「決断の速さ」という文化がある。
- **組織**：今は組織も大きく変わっている最中。手探りで模索中な段階、もっと大きく羽ばたくための準備期間なのでは。
- **ブランド**：2次病院というイメージを持たれることが多い。他の2次とどう差別化するのか。「他の一次が紹介しやすい病院」「セカオピなど、紹介なしでも飼い主が辿り着きやすい病院」などを目指すのはどうか。

Photo Collection



セミナー受講者の声 1

お名前	セミナーに参加し、学んだことや変わったことを教えてください。	今後に活かしたい内容や、やろうと思う行動を教えてください。
井口 和人	ウェルビーングに関して話すことで、院長先生看護師長の先生のやる気が上がった気がする。また会を通じて一体感が出たと思う。	より良い病院にするための取り組みは変わらず実施するが、出てきたどんな病院にしたいなどの全体の意見を若手などにも伝えるべきかと思う。
大竹 大賀	CFMメンバーをより深く知る良い機会でした。 グループの目標に向かうため強い組織になる方法を学びました。	「人は皆、出会ったものでできている」という言葉が特に心に残ったので、個々の意思を尊重し成果をポジティブにフィードバックし、同じ意思を持った仲間を増やすことで市ヶ谷や神経科の発展に繋がりたいです。
上原 拓也	普段の仕事現場とは違う環境の中で仕事とは違う共同作業を行い、普段話さない事を話したりすることで日々の仕事の中では知ることができない人となりを知ることができました。仲間の人となりを知ること、相手をより一層尊重したいと思うようになりました。	仕事以外でもコミュニケーションを増やし相手の人となりを知る行動を取っていきたいと思います。
宮川 楓	普段接することの少ないスタッフと交流ができて楽しかったです。 その方の考え方に触れることができたり、人生の波を知ることができたり、自分自身が知らない一面も見ることができました。 意識の高いスタッフに囲まれて過ごした影響もあり、自分自身の考えかたや物事の捉え方がよりポジティブになることができました。この先の未来を明るく描くことができたと思います。 また、代表とグループが一緒になり、日頃中々聞くことができない、代表のグループやスタッフに対する思いも知ることができ、とても貴重な時間になりました。	年末に1年間の感謝状、もしくはありがとうレターを作成してスタッフに渡す。 看護師長をやりたいという人を増やすためにまずは自分が看護師長として楽しく働く！
山里	近くにいる人でもみんな生い立ちがちがいが考え方も様々で、知ることの大事さが分かった	その人の大切にしていることが、他の人からの視点によって明らかになることは面白かったし、自分自身では気づいていなかったことにも気付かされるきっかけになったので、目に見える形にするのは整理するのにいいと思う。
青木 修一	様々な意見、主張に対して否定せず、肯定し、認めることの大切さを学びました	まずは、感謝の気持ちをきちんと伝えていくことを心掛けたい
山本 宇	人生をグラフにすることでそれぞれの大切にしている価値観というのが人によって全然異なるということを実感し勉強になりました。それぞれの価値観を知れたからこそ、より深くその人のことを知れたような感じがして、とても楽しかったです！	今回たくさんのコミュニケーションをとったことでお互いの考えを知ることができました。参加していないメンバーにも積極的にコミュニケーションをとることで、CFMメンバーと若手との「架け橋」になれるよう頑張りたいと思っています！

セミナー受講者の声 2

お名前	セミナーに参加し、学んだことや変わったことを教えてください。	今後に活かしたい内容や、やろうと思う行動を教えてください。
小松 哲	小滝橋動物病院グループの前向き明るくポジティブな雰囲気強く感じました。	事務方バックオフィスとして、医療フロント部門のお役に立てるよう、もっと貢献していきたいと感じています。
市川 由香里	過去の行いや経験が今の自分をつくり、今の行いや経験が未来の自分をつくる未来の自分のために今何をしたらいいか、将来の小滝橋のために自分が何をすればいいのかを学びました	未来に向かっての私の行動で上げた次期看護師長、副看護師長の育成 師長のやりがいと喜びを後輩に伝えていきたいです
磯野 新	スタッフとは沢山話してきたつもりでしたが、意外とその人の過去であったり、考えていることは知らなかったなと感じました。 互いを知るためにこういった時間も必要なのかもしれないと感じました。 また、自分の現状を知り、将来どうするかを考える良い機会にもなりました。	互いを知るために思っていることを話し合う場を作る、課題的には1on1の時間を作成する。 将来の目標や病院目標を全体に周知させるために、まずはマネージャーたちに話していく。
服部 充	横の繋がりを強く感じる事ができた	一緒に働いている人の経験してきたことやこれまでの歩み、偏愛を知り人柄をよく理解して、ウェルビーイングな病院にしたい
閑 弘之	自分主体の考え方だけでなく、相手側のスタンスはそこに至るまでの過程に差があることを理解して、どちらが正しいなどではなくより良い方法に繋がる寄り添いなどが必要と感じました。	いまの仕事環境の中で各々が考えている改善点や現状への懸念をそれぞれ確認し、こちらで把握した上で業務へ組み込む
矢ヶ崎 望	他人の話はandやYesで聞く 自分や病院の未来について考えることで今取り組むべきことが明確になった	毎日一緒に働くスタッフへ、感謝が見える化するために主語をつけて文章として相手へ感謝を伝える
村井 晃三郎	目の前の仕事ではなく、グループ病院全体や業界全体の未来について考えたことで視野が広がったと思います。また、参加者のバックボーンや考え方を知ることができたのも新鮮で、結束が強まったように感じました。	スタッフの考え方やグループに勤務するまでの経緯など、その人のひととなりをも興味を持って聞く様にしたいです。また、グループの向かう先、展望を言える範囲でスタッフに伝えていき、未来に目を向けて働いてもらえる様に働きかけていきたいです。
桑原 明日香	自分自身を開示した時に自分の知らなかった部分を他の人から視点で聞いて知れたことでどんな部分を大事にしているかを知れて仕事に対する取り組み方を少し変化することができるようになったと思います。他スタッフの考えていることや目指したい方を聞いたことで自分はどのように貢献できるかなどを今まで以上に考えられるようになったと思います。	目標を全員で共有、見える化をし全員で目標に向かって団結できるようにしていきたいです。



オモテナシ を探る

1



From
柴川さん

飼い主と日常的に接する仕事ですが、ビジネスマナーや言葉遣いに対する苦手意識を持っている方が多いと聞きました。そこで、接客セミナーを担当されている柴川さんにお話を伺いました！

柴川さんにとって"おもてなし"は、 どういうものですか？

日本の茶の湯には「出迎え3歩見送り7歩」という重要な教えがあります。この言葉には見送りまでも相手を大切に想う心が反映されています。

それはまるで「今日も素晴らしい一日でありますように、怪我をしませんように」という願いを込めて家族に「行ってらっしゃい」と送り出す気持ちに似ているのかもしれない。

私たちの周囲にいる人々との関係に目を向けると、たくさんのチャンスが見つかります。おもてなしの表現には特定の形や正解はなく、気づいた時に自分なりの思いを込めることが大切だと考えています。

赤坂院のケアスタッフ武田さんに注目

もし自分の家族の一員を預けるなら、どんな病院がいいかを常に考えるようにしています。

特に、動物たちがリラックスして治療を受けられるよう、衛生管理に注力しています。ICUや入院室では、動物の視点に立って清掃を行うよう心掛けています。

From
武田さん



赤坂院に嬉しい□コミが届きました ✨

12歳半のチワワに「胆石」が判明し、かかり付け医の紹介でこちらを受診しました。術後も状況が芳しくなく、最悪の事態も覚悟しましたが、先生やスタッフの方々の賢明な努力で奇跡的な（少なくとも私たち老夫婦にとってはそんな印象でした）回復をみて現在ははさこぶる元気になっております。

院長先生、ドクターの方々、看護師その他のスタッフの方々皆さんとっても優しく接して下さったようで、寂しがり屋で外泊など出来なかったのに延べ2週間近くの入院にも耐えることが出来ました。

退院して1ヶ月が経ちましたがすっかり元気になって毎日少しずつ散歩も出来るようになっていきます。本当にお世話になりました。

おもいやりが動物にとって快適な環境を作り出し、それが広がっていったと感じました。「接遇の正しい知識がないからできない」とテクニックに頼っていた自分が恥ずかしいです。身近なことからも、思いを込めて取り組んでみようと思いました。



ご質問やご意見、ご感想などがございましたら、ぜひ下記のフォームよりお知らせください。皆様の貴重なフィードバックをお待ちしております。

また、OTAKI VOICEの表紙に掲載させていただく、動物（ペット）の写真を募集しています。とっておきの1枚をご投稿ください！

ご意見ご感想・写真募集フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScPIEc9RJjavQ-yMCHV2aNzJS9zKbTMRj3jB3oFF5rsComW7Q/viewform?usp=dialog>

